

「学校における業務改善」

「屋久島町立中央中学校」の実践紹介

効果が期待される取組

職員研修による共通理解の基、全職員が1 T r yを設定し、その実現に向けてチームとして取り組み、業務改善の意識を高め、教育の質の向上に努める。

実施前の課題

- 正規の勤務時間を超える勤務時間が45時間以上を超えた月が7か月。
- 正規の勤務時間以外に部活動にかかる時間の割合が高い。
- 授業や授業準備以外の業務に従事する時間の割合が高い。



実施後の成果

- 正規の勤務時間を超える勤務時間が45時間以上を超えた月が4か月に減少。
- 正規の勤務時間以外に部活動にかかる時間の割合が前年度より低くなった。
- 授業や授業準備以外の業務に従事する時間の割合が前年度より低くなった。

業務改善を目指した取組の詳細



- 正規の勤務時間を超える勤務時間は月45時間以内
- 教職員の80%以上が「業務改善が進んでいる」と実感
- 教職員の1年間の年休の取得平均日数が15日以上

重点取組① 業務改善に対する意識改革

- ・ 1 Action(月2回18:00完全退庁日を設定) , 1 Try(教員各人で取り組むこと)の設定
- ・ 保護者、地域の方々の学校業務に係る意識改革(保護者へのプリント配布, P T Aや学校関係者評価委員会での周知)

重点取組② 事務の負担軽減と専門スタッフ等の活用

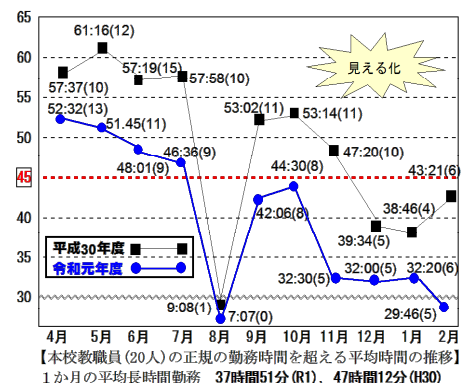
- ・ 通知表の見直し…「家庭と学校との連絡」における通信欄を簡素化
- ・ 印刷業務スタッフ(用務員)の活用 ・ 校務支援システムの効果的活用
- ・ 家庭訪問の工夫…3年生の家庭訪問は希望者のみ実施
- ・ 学校評価における事務軽減(評価項目の精選)

重点取組③ 授業準備の効率化と時間確保

- ・ 学力向上支援Webシステム等の活用(問題集の配布, 定期テスト, 実力テストへの活用)
- ・ 職員室・印刷室の整理整頓による校務の効率化

重点取組④ 部活動に係る勤務状況の改善

- ・ 活動時間15分間の短縮(4~6月)
- ・ 週2日(平日1日と土日いずれか1日)の休養日の設定
- ・ 部活動計画表の作成と保護者への周知
- ・ 外部指導者(野球部)の導入



今後の課題、計画

- 業務の簡素化の推進(業務の見直しを行い、教育の質の向上に努める。)
- 業務の効率化の推進(校務支援システムやWebシステム等の活用推進を図る。)
- 業務改善の意識の向上(業務改善実感意識 80%以上を目指す。)